

政務活動費収支報告書

令和8年 3月 31日

富士宮市議会議長

様

会派名称 つなぐ

代表者氏名 仲亀恭平

令和 7 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入  
政務活動費 1,800,000 円



2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	8,550	図書購入費
会議費	665,950	学会、勉強会参加費
事務費	0	
調査旅費	449,520	先進地視察旅費
その他経費	126,000	貸与端末機議員負担金、視察の土産代
合計	1,250,020	

3 残額 549,980 円

令和 7 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
4	15	政務活動費	政務活動費6人分	1,800,000		1,800,000
4	22	会議費	日本臨床工学会参加費		14,000	1,786,000
5	17	会議費	日本臨床工学会旅費		45,720	1,740,280
5	23	会議費	子宮頸がんワクチン研修会旅費		3,010	1,737,270
5	24	資料購入費	図書購入費		1,000	1,736,270
5	24	会議費	子宮頸がんワクチン研修会参加費		500	1,735,770
6	10	その他の経費	貸与端末機議員負担金		120,000	1,615,770
6	11	資料購入費	図書購入費		6,050	1,609,720
7	5	資料購入費	図書購入費		1,500	1,608,220
7	14	その他の経費	行政視察土産代		6,000	1,602,220
7	14	調査旅費	長浜市長浜城歴史博物館、福井県小浜市、富山市図書館、視察旅費		435,720	1,166,500
7	16	調査旅費	博物館、山車会館入館料		3,000	1,163,500
7	16	調査旅費	長浜城歴史博物館入館料		3,000	1,160,500
7	17	調査旅費	食のまちづくり視察料		7,800	1,152,700
8	1	会議費	自治体議会特別セミナー旅費		13,480	1,139,220
8	4	会議費	自治体議会特別セミナー参加費		40,000	1,099,220
8	8	会議費	対話で変える〇〇の仕事研修参加費		5,000	1,094,220
8	5	会議費	対話で変える〇〇の仕事旅費		3,370	1,090,850
10	30	会議費	発達につまずきのある子の支援方法を学ぶための参加費		5,330	1,085,520
3	6	会議費	静岡がん会議2025参加のための旅費		9,030	1,076,490

2	20	会議費	地方議員研究会の参加費		360,550	715,940
3	18	会議費	地方議員研究会参加のための旅費		82,980	632,960
3	18	会議費	地方議員研究会参加のための旅費		82,980	549,980
						549,980
						549,980
						549,980
						549,980
						549,980
						549,980
			合 計	1,800,000	1,250,020	549,980

収入金額	1,800,000 円
支出金額	1,250,020 円
差引残額	549,980 円

会 派 結 成 届

2025年 4月 15日

富士宮市長 須藤秀忠 様

会派名称 つなぐ  
代表者氏名 仲亀恭平

会派を結成したので、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 会派の名称 つなぐ
- 2 結成年月日 2025年 4月 15日
- 3 代表者の氏名 仲亀恭平
- 4 経理責任者の氏名 岩村恵美
- 5 所属議員の氏名  
仲亀恭平  
望月芽将  
岩村恵美  
白井由紀子  
小松快造  
佐野和彦

令和7年4月15日

## 令和7年度 つなぐ 年間計画

### 先進地視察

- 1, 福祉（子育て・重層的支援事業）
- 2, 教育（不登校問題）
- 3, 防災（障がい者、衛生面）
- 4, 環境（オーガニック、有機農産物）
- 5, 先進地視察（交通インフラ、博物館、食育）

### 研修会

- 1, 議員研修・セミナー等の参加
- 2, 各種学会主催の講演会への参加
- 3, その他

### 資料購入

- 1, 議員活動関連書籍の購入
- 2, 自治体情報月刊誌の購入

### 事務用品購入

- 1, 筆記用具・文具全般
- 2, その他

つなぐ 代表者 仲亀恭平  
会計 岩村恵美

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第26号の2

令和7年4月15日

つなぐ

代表者 仲亀 恭平 様

富士宮市長 須藤 秀 忠

令和7年4月15日付けで申請のあった政務活動費の交付について、  
下記のとおり決定したので通知します。

記

令和7年度交付決定額 180万円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	1 8 0 0 0 0 0 円
内 容	政務活動費 6人分 仲亀恭平 小松快造 佐野和彦 白井由紀子 望月芳将 岩村恵美
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 5 日
摘 要	

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 7 年 4 月 18 日	決 裁	7 年 4 月 18 日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	仲亀恭平	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
大阪府大阪市北区	グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	第35回日本臨床工学会 臨床工学の進歩と調和 ~Progress and Harmony for CE~	
研 修 目 的			
臨床工学に関する研究成果発表や討議、また災害医療を強化する取組みや最新動向 などを学ぶ。			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
大阪府大阪市北区	令和 7 年 5 月 17 日	令和 7 年 5 月 18 日	

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	14,000 円
内 容	第35回日本臨床工学会～臨床工学の進歩と調和～への参加費。
目 的	臨床工学に関する研究成果発表や討議、また災害医療を強化する取り組みや最新動向などを学ぶ。
支 出 先	第35回日本臨床工学会
支払年月日	令和 7 年 4 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平一名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

# 領収書

公益社団法人日本臨床工学技士会

登録番号 T7010005018476

発行日 2025年5月12日

注文日 2025年4月22日

No. [REDACTED]

富士宮市議会 会派つなぐ  
仲亀 恭平 様

下記正に領収いたしました。

お支払い方法	クレジットカード
お支払い日	2025年4月22日
金額	14,000 円

第35回日本臨床工学  
学会長 小北 克也 [REDACTED]

公益社団法人日本臨床工学会  
理事長 本間 崇

区分/項目		単価	数量	金額
参加登録費	非会員	14,000 円	1	14,000 円
			合計	14,000 円

10%対象	14,000 円	消費税	1,272 円
-------	----------	-----	---------

第35回日本臨床工学会の参加費として受領いたしました。

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	45,720 円
内 容	第35回日本臨床工学会～臨床工学の進歩と調和～ に参加するための旅費。
目 的	臨床工学に関する研究成果発表や討議、また災害医療を強化する取 組みや最新動向などを学ぶ。
支 出 先	仲亀恭平
支払年月日	令和 7 年 5 月 17 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平一名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

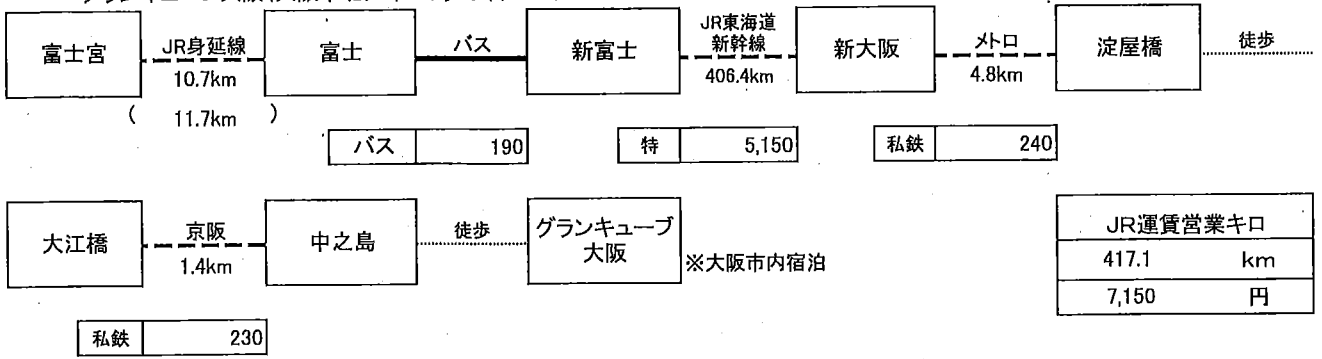
旅費計算書(政務活動費)

つなぐ  
(仲筆議員)

● 1日目: 令和7年5月17日(土)

【研修】日本臨床工学会 臨床工学の進歩と調和

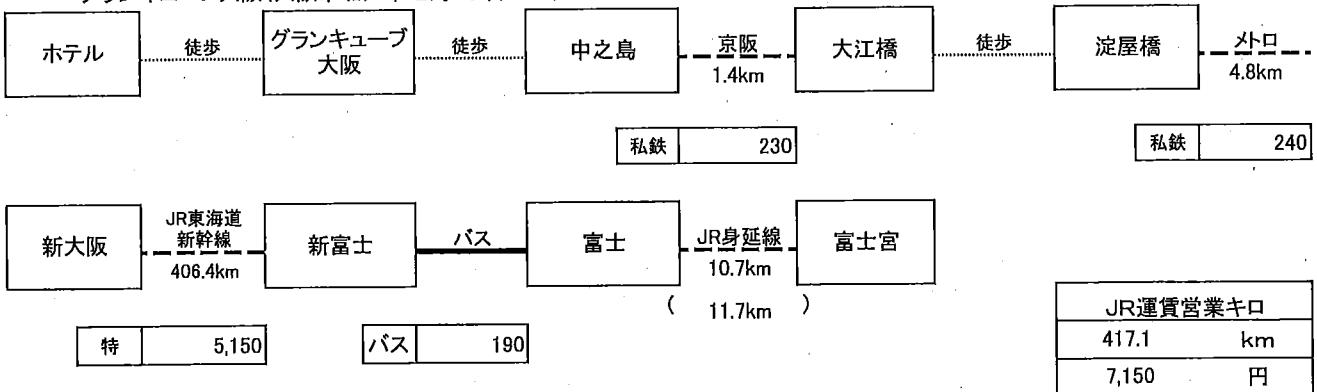
グランキューブ大阪(大阪市北区中之島5丁目3-51)



● 2日目: 令和7年5月18日(日)

【研修】日本臨床工学会 臨床工学の進歩と調和

グランキューブ大阪(大阪市北区中之島5丁目3-51)



鉄道賃	JR	14,300 円	運賃 A	25,920 円	×	1 人	=	25,920 円					
	私鉄	940 円		日当	1,650 円	×	2 日	×	1 人 =	3,300 円			
特急料金	通常	10,300 円	航空運賃		料金	円	宿泊料	16,500 円	×	1 夜	×	1 人 =	16,500 円
	閑散	円						車賃(バス)	380 円	1人往復運賃合計 A	25,920 円	×	1 人 =
繁忙	円	旅費合計	45,720 円/人	×	1 人 =	45,720 円							

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
研修年月日	令和7年5月17日	
研修名	第35回日本臨床工学会	
参加者	仲亀恭平	
研修内容	<p><b>【経緯】</b></p> <p>睡眠呼吸障害は、個人だけでなく社会全体にも影響を及ぼす病気である。多くの人が睡眠呼吸障害であることに気づかず、適切な治療を受けていないため、社会問題として認識される。睡眠呼吸障害は早期発見・早期治療が重要であり、行政としても睡眠呼吸障害の改善への取組みが必要不可欠と考える。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>睡眠呼吸障害、特に閉塞性睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、日本で国民病とも言われるほど、多くの人が罹患していると考えられている。</p> <p>●罹患率</p> <p>日本では、約4%の人がSASと診断される可能性があり、重症と診断されて治療が必要な人だけでも300万人以上いると考えられている。</p> <p>30歳～70歳までの人の約33%がSAS患者の可能性がある。</p> <p>●潜在患者</p> <p>多くの人が症状に気づかず、未診断のまま放置されている可能性がある。</p> <p>940万人以上が潜在患者と推計。（2019年の調査）</p> <p>●治療</p> <p>SASの治療には、CPAP療法（持続陽圧呼吸療法）が広く用いられている。しかし、CPAP療法の患者数は、潜在患者数に比べると少ないのが現状。</p> <p>睡眠呼吸障害の診療におけるオンライン診療の現状と課題についても、研究が進められている。</p> <p><b>【睡眠呼吸障害の問題】</b></p> <p>●交通事故のリスク増加</p> <p>日中の強い眠気や集中力低下は、運転時の判断ミスや居眠り運転を招き、重大な交通事故につながる可能性がある。</p> <p>●労働災害のリスク増加</p> <p>眠気や集中力低下は、作業中のミスや事故を招き、労働災害のリスクの可能性もある。</p> <p>●経済損失</p> <p>交通事故や労働災害、さらには健康問題による長期的な休職や退職、生産性の低下などが経済的な損失につながる可能性がある。</p>	

●QOL（生活の質）の低下

睡眠の質の低下は、日中の眠気・疲労感・集中力の低下など、日常生活や仕事に影響を与え、QOLの低下を招く。

【まとめ】

睡眠呼吸障害は、多くの方が自覚症状がないため、気づかないまま放置されていることが社会問題となっている。早期発見・早期治療が重要であるため、行政もその改善に積極的に関わる必要があると考える。富士宮市が講じる医療政策や福祉政策において、睡眠呼吸障害に対して現状を把握すること、また人工呼吸療法在宅医療に関する支援や情報提供を行う可能性について問いたい。

●市民への情報発信

健康診断や人間ドックでの睡眠呼吸障害のチェックを推奨する情報提供を行う。

●地域医療との連携

地域医療機関との連携を強化し、地域住民への情報提供とサポート体制を整備する。

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
視 察 年 月 日	令和7年5月18日	
研 修 名	第35回日本臨床工学会	
参 加 者	仲亀恭平	
研修内容	<p><b>【経緯】</b></p> <p>災害時にインターネット環境を整備することは非常に重要である。被災者の安否確認や避難情報共有、支援活動の効率化など、様々な場面でインターネットは不可欠なツールとなっている。</p> <p>石川県能登地震において、スターリンクは被災地の通信インフラ復旧に貢献した。スターリンクを活用することで、地上インフラが被害を受けた場合でも、インターネットに接続できる環境を確保できる。</p> <p><b>【災害時におけるスターリンクの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●災害対策本部の運営 災害対策本部における情報共有を迅速化させる。</li><li>●医療機関との連携 災害現場での医療活動を支援するために、医療機関との通信手段を確保する。 患者受入れや送出しの際、災害拠点病院との情報共有手段となる。</li><li>●災害派遣医療チーム（DMAT）の支援 災害現場での通信手段を確保することで、DMATの活動を支援できる。</li><li>●救援隊への迅速な情報共有 災害時の被害状況をスターリンクでリアルタイムで把握し、救援隊への情報共有が可能。</li><li>●住民の安否確認 住民の安否確認を迅速に行うことができる。</li><li>●避難所への情報提供 避難所情報や支援物資情報を市民に提供できる。</li><li>●被災状況の把握 ドローンによる空撮データをスターリンクでリアルタイムに受信し、被災状況の把握ができる。</li></ul> <p><b>【まとめ】</b></p> <p>大規模災害時におけるインターネットの役割は多岐にわたり、市民への危機情報の伝達、安否確認、医療機関や救援隊との情報共有、避難所情報の収集などが挙げられる。これらの機能は、災害時の通信手段の確保と同時に、情報を迅速かつ広範囲に伝えるための重要な手段である。スターリンクはインターネット接続が途絶した被災地においても、空が見</p>	

	<p>える環境であれば通信手段を確保できる。災害時に備える BCP 対策としてスターリンクの活用を富士宮市に提案する。</p>
--	---

# 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和7年 5 月 20 日	決 裁	令和7年 5 月 20 日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
静岡県三島市大宮町	三島市民生涯学習センター	子宮頸がんワクチン研修会	
研 修 目 的			
子宮頸がんワクチンの有効性、安全性について考える			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
	令和7 年 5 月 24 日	令和7 年 5 月 24 日	

政 務 活 動 費 用

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	500円
内 容	子宮頸がんワクチン研修会参加費
目 的	子宮頸がんワクチンの有効性や安全性について学ぶため
支 出 先	子宮頸がんワクチン研修実行委員会
支払年月日	令和7年5月24日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
岩村恵美 1名 受講料 (資料代) 500円	

領収書

領収書

つなぐ

様

No. \_\_\_\_\_

金 額

¥500-

収 入  
印 紙

(消費税等) を含む

但し、参加費(資料代)代として

内訳

税率 本体価格  
8% 消費税額税率 本体価格  
10% 消費税額

2025年 5月 24日 上記正に領収いたしました

子宮頸がんワクチン研修実行委員会

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	3,010 円
内 容	子宮頸がんワクチン研修会参加のための旅費
目 的	有効性、安全性はどうか。厚労省リーフレットや公的資料をよく読んで、事実はどうななかを学ぶため
支 出 先	岩村恵美
支払年月日	令和7年 5月 23日
その他特記事項(参加者・人数等) 岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

7

別紙のとおり

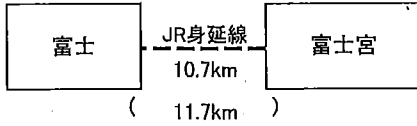
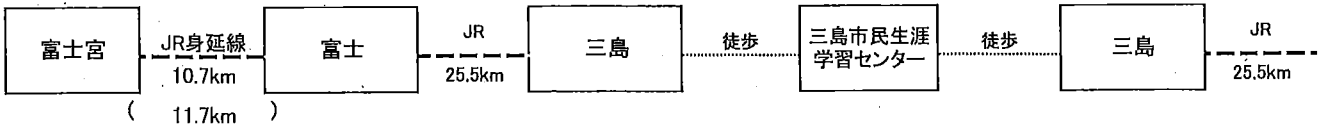
旅費計算書(政務活動費)

つなぐ  
(岩村議員)

● 1日目: 令和7年5月24日(土)

【研修】子宮頸がんワクチン研修会

三島市民生涯学習センター(三島市大宮町1丁目8-38)



JR運賃営業キロ	
72.4	km
1,360	円

鉄道賃	JR	1,360 円	運賃 A	1,360 円	× 1 人	= 1,360 円
	私鉄	円	日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 =	1,650 円	
特急料金	通常	円				
	閑散	円				
	繁忙	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 =	0 円	
航空運賃	料金	円				
船賃		円				
車賃 (バス)		円	旅費合計	3,010 円/人 ×	1 人 =	3,010 円
1人往復運賃合計 A		1,360 円				

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
研 修 年 月 日	2025年5月24日	
研 修 名	子宮頸ワクチン研修会	
参 加 者	岩村恵美	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>子宮頸ワクチンの有効性、安全性や厚生省が出しているリーフレットを読み解く方法等。</p> <p>実際に12歳の娘に3回ワクチンを打った後、どのように体に異変が起こったのか、どのような経緯をたどったか、10年後に医師により、子宮頸ワクチンの後遺症と言われるまで、わからなかったことなど、お母様によるお話を聞いた。当日はワクチン後遺症のご本人が、話をする予定になっていたが、体調が悪く参加ができなかった。</p> <p>名古屋大学 客員教授 隈本 邦彦氏による講演は、なぜ子宮頸ワクチンを調べるに至ったかの経緯、実態調査や厚生省が出しているデータからワクチンを打つことが、がんを防いでいるのか、など多岐にわたるデータをどのように読み解くのか、データから何がわかるかをもとに話を伺った。</p> <p>以前から、唯一がんを防げるワクチンとのことで、我が子に打つ方向で考えていた経緯がある。2013年4月定期接種開始により、連日TVコマーシャルを見ていたが、接種後に多様な症状の訴えが相次いだ。その為6月に定期接種の位置づけは維持する一方、積極的勧奨を中止していた経緯がある。</p> <p>これらのデータや経緯を知り、打つ、打たないの判断基準としたいと思う。またリスクとベネフィットを国にはしっかり出してほしいと改めて思います。</p>	

## 支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	1000円
内 容	図書購入代
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワーク
支払年月日	令和7年5月24日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
HPV ワクチンのほんとうのこと	

## — 領収書等貼付欄 —

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

つなぐ 様

2025年5月24日

金額

¥1,000-

書籍「HPVワクチンのほんとうのこと」の代金として上記正に領収いたしました。

HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク

代表世話人 隈本井

## 支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	120000円
内 容	貸与端末機議員負担金
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	富士宮市
支払年月日	令和7年6月10日
その他特記事項 (参加者・人数等) 20000円×6名=120000円 仲亀恭平・佐野和彦・小松快造・臼井由紀子・望月芳将・岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	貸与端末機議員負担金、調査研究に必要なため
----	-----	----	-----------------------

領収書等貼付欄

令和 7 年度

富士宮市

<b>納入通知書兼領収書</b>					
納 入 者	富士宮市弓沢町150				
	つなぐ 代表者 仲亀 恭平  様				
会計	01	一般会計		予区	現年
款 21	項 04	目 04		節 04	細節 02 細々節 35
金額	120,000 円				
内容	貸与端末機議員負担金 (つなぐ)				
担 当 課	700500 市議会事務局				
納 期 限	令和 年 月 日				
富士宮市 富士宮市長 上記の金額を納入して下さい。 令和 7年 6月 1日					
上記のとおり領収しました。				領収日付印	
				7. 6. 10	

納 付 場 所  
 静岡銀行・スルガ銀行・清水銀行・静岡中央銀行  
 富士宮信用金庫・富士信用金庫・静岡県労働金庫  
 富士伊豆農業協同組合

# 支 出 伝 票

項 目	資料購入費										
金 額	6,050円										
内 容	図書購入代										
目 的	議会活動にかかる経費										
支 出 先	MARUZEN&ジュンク堂書店 新静岡店										
支払年月日	令和7年 6月 11日										
その他特記事項 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">【品名】</th> <th style="text-align: right;">【金額】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講談社「フーディー」日本を再生する！ ニッポン美食立国論 ガストロノミーリズム</td> <td style="text-align: right;">1,870円</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンド社 なぜあの地域にはラグジュアリー 旅行者が訪れるのか</td> <td style="text-align: right;">1,760円</td> </tr> <tr> <td>議会答弁の書き方</td> <td style="text-align: right;">2,420円</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td style="text-align: right;"> 6,050円</td> </tr> </tbody> </table>		【品名】	【金額】	講談社「フーディー」日本を再生する！ ニッポン美食立国論 ガストロノミーリズム	1,870円	ダイヤモンド社 なぜあの地域にはラグジュアリー 旅行者が訪れるのか	1,760円	議会答弁の書き方	2,420円	 合計	 6,050円
【品名】	【金額】										
講談社「フーディー」日本を再生する！ ニッポン美食立国論 ガストロノミーリズム	1,870円										
ダイヤモンド社 なぜあの地域にはラグジュアリー 旅行者が訪れるのか	1,760円										
議会答弁の書き方	2,420円										
 合計	 6,050円										

— 領収書等貼付欄 —

登録番号: T9010001134416    領収証番号: [REDACTED]    2025年06月11日 No. [REDACTED]

**領収証**    金洲 つばぐ    様

**金額**    ¥6,050-

内クレジット利用計	¥6,050(内消費税等 ¥550)
内現金扱い等計	¥0(内消費税等 ¥0)
書籍・文具等	¥6,050(内消費税等(10%) ¥550)

但し

上記正に領収いたしました。

MARUZEN&ジュンク堂書店 新静岡店  
 〒420-8508静岡県静岡市葵区鷹匠1-1-1 新静岡セノバ 5F  
 電話054-275-2777

## 支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	1500円
内 容	図書購入代
目 的	調査、研究に必要なため
支 出 先	静岡性教育研究会
支払年月日	2025年 7月 5日
その他特記事項 (参加者・人数等) 発達障害グレーゾーンのコミュカを伸ばす本 1冊	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

会派つばく 岩村 貞美

様 No. \_\_\_\_\_

¥ 1500-

但 書籍代金として 発達障害グレーゾーンのコミュカ  
 入金日 2025年 7月 5日 上記正に領収いたしました

 収 入  
 印 紙

 内訳  
 税抜金額  
 消費税額等 ( %)

 〒416-0855 静岡県富士市川崎町285番地  
 静岡性教育研究  
 代 表 船 津 裕

## 視 察 申 請 書

		予算項目	調査旅費
起 案	令和7	年 5 月 8 日	決 裁
			年 5 月 8 日
所 属	氏 名	備 考	
1	つなぐ	仲亀恭平	
2		小松快造	
3		佐野和彦	
4		臼井由紀子	
5		望月芳将	
6		岩村恵美	
視察市町村	視 察 先	目 的	
滋賀県長浜市	長浜城歴史博物館	歴史博物館の調査、研究のため	
福井県小浜市	御食国若狭おばま食文化	地産地消を参考にするため	
福井県敦賀市	愛発公民館	新スマート物流を学ぶため	
富山県富山市	富山市立図書館	複合ビルで美術館と併設する図書館を学ぶため	
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
福井県敦賀市 富山県富山市		令和7 年 7 月 16 日	令和7 年 7 月 18 日

## 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	435720円
内 容	長浜城歴史博物館、福井県小浜市、富山市立図書館視察のための旅費
目 的	長浜城歴史博物館、御食国若狭おばま食文化館 敦賀市スマート物流について 富山市図書館
支 出 先	仲亀恭平ほか5人
支払年月日	令和7年7月14日
その他特記事項（参加者・人数等） 仲亀恭平、小松快造、臼井由紀子、佐野和彦、望月芳将、岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

# 旅費計算書(政務活動費)

つなぐ

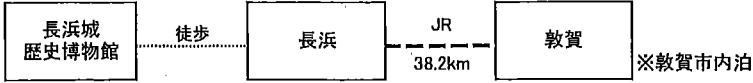
(仲亀・佐野和彦・臼井・小松・望月・岩村議員)

● 1日目：令和7年7月16日(水)

【視察】 長浜城歴史博物館(滋賀県長浜市公園町10-10)



バス	190	特急料金	3,730
----	-----	------	-------

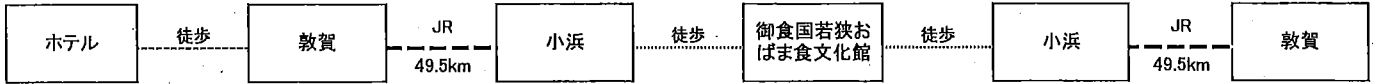


JR運賃営業キロ	
356.3	Km
6,180	円

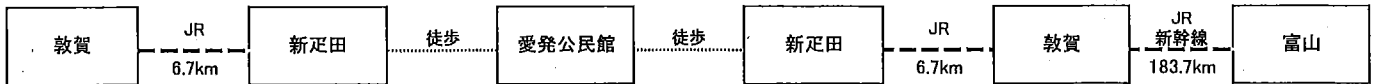
※視察 13時半～

● 2日目：令和7年7月17日(木)

【視察】 御食国若狭おばま食文化館(福井県小浜市川崎3-4)、愛発公民館(福井県敦賀市新田37-1)



※視察 9時半～



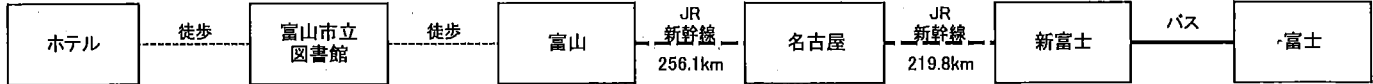
※視察 14時～

特	3,170
---	-------

JR運賃営業キロ	
296.1	Km
5,570	円

● 3日目：令和7年7月18日(金)

【視察】 富山市立図書館本館 TOYAMAキラリ(富山県富山市西町5-1)



※視察 10時～

特急料金	3,150	特急料金	4,130	バス	190
------	-------	------	-------	----	-----



JR運賃営業キロ	
475.9	Km
8,360	円

鉄道賃	JR	20,110	円	運賃 A	34,670 円 × 1 人 = 34,670 円			
	私鉄		円		日当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 = 4,950 円		
特急料金	通常	3,170	円	宿泊料		16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円		
	閑散	3,730	円			車賃(バス)	380 円	
	繁忙	7,280	円		1人往復運賃合計 A		34,670 円	
航空運賃	料金		円	旅費合計	72,620 円/人 × 6 人 = 435,720 円			
船賃			円					

## 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	3000 円 /
内 容	博物館、山車会館、入館料
目 的	博物館、山車会館の歴史を学ぶ為。
支 出 先	敦賀市 /
支 払 年 月 日	令和7年7月16日 /
その他特記事項 (参加者・人数等) 仲亀恭平、佐野和彦、小松快造、白井由紀子、望月芳将、岩村恵美 250 円×6 名 250 円×6 名	

領 収 証 書			
住所			
氏名 富士宮市議会 様 会派 となぐ			
平成 7 年度		一般会計	
款	諸 収 入	項	雑 入
目	雑 入	節	雑 入
金額		1,500 円	
内 訳	金 額	備 考	
図 録	円		
紀 要	円		
敦賀市史	円		
絵 葉 書	円		
そ の 他	円		
入館料	1,500 円	共通入館料 山車会館分 250円×6名	
計	1,500 円		
上記のとおり領収いたしました。 平成 7 年 7 月 16 日 令和			
敦賀市現金出納員 奥本律子			

領 収 証 書			
住所			
氏名 富士宮市議会 様 会派 となぐ			
平成 7 年度		一般会計	
款	諸 収 入	項	雑 入
目	雑 入	節	雑 入
金額		1,500 円	
内 訳	金 額	備 考	
図 録	円		
紀 要	円		
敦賀市史	円		
絵 葉 書	円		
そ の 他	円		
入館料	1,500 円	共通入館料 山車会館分 250円×6名	
計	1,500 円		
上記のとおり領収いたしました。 平成 7 年 7 月 16 日 令和			
敦賀市現金出納員 高早恵美			

## 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	3000 円
内 容	長浜市長浜城歴史博物館入館料
目 的	どのような経緯で博物館建設にいたったのか。 展示物の内容や方法、背景を知る為。
支 出 先	長浜市長浜城歴史博物館
支払年月日	令和7年7月16日
その他特記事項 (参加者・人数等) 仲亀恭平、佐野和彦、小松快造、臼井由紀子、望月芳将、岩村恵美 500円×6名分として。	

— 領収書等貼付

長浜市長浜城歴史博物館  
入館券領収書

R7年7月16日

お客様名	富塚市議会 会派 つかい	様
入館料金 受取額	3,000	円
入館者 内 訳	◇大人一般 @ 410円 × 6	人
	割引 @ 330円 ×	人
	◇小人一般 @ 200円 ×	人
	割引 @ 160円 ×	人
	◇パスポート @ 1000円 ×	冊
	登録番号 T9000020252034	

上記のとおり受領しました。

長浜市長浜城歴史博物館

〒526-0065 滋賀県長浜市公園町10-10

☎ 0749-63-4611 FAX: 0749-63-4613

E-mail: rekihaku@city.nagahama.lg.jp

U R L: <http://www.city.nagahama.lg.jp/section/rekihaku/>

## 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	7800円
内 容	食のまちづくり視察料
目 的	御食国若狭おばま食文化館を視察し、その成り立ちと経緯や、どのように活用しているかを学ぶため。
支 出 先	御食国若狭おばま食文化館
支払年月日	令和7年7月17日
その他特記事項（参加者・人数等） 仲亀恭平、佐野和彦、小松快造、臼井由紀子、望月芳将、岩村恵美 1300円×6名	

— 領収書等貼付欄 —

## 領 収 書

富士宮市議会 様

令和7年7月17日

金

7800

円也

但: 食のまちづくり視察料@1300円×6名

上記正に領収致しました。

登録番号T6000020182044

消費税 (10%) 709 円

御食国若狭おばま食文化館

福井県小浜市川崎3丁目4番

TEL: 0770-53-1000

FAX: 0770-53-1036

# 視察報告書

会 派 名 つなぐ

<b>視察 年 月 日</b>	令和7年7月16日
<b>視察 名</b>	滋賀県長浜市「長浜城歴史博物館」
<b>参 加 者</b>	つなぐ：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子、望月芳将、岩村恵美、仲亀恭平
<b>視察内容</b>  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>1. 目的：「長浜城歴史博物館」について</p> <p>2. 訪問先：滋賀県長浜市「長浜城歴史博物館」</p> <p>3. 長浜市の概況                  人口 約 11.3 万人、合計特殊出生率 1.52、経済収支比率 91.8%                  実質公債費率 1.0 財政力指数 0.53</p> <p>長浜市は滋賀県北東部に位置し、琵琶湖に面した歴史と自然に恵まれた都市です。戦国武将・豊臣秀吉が築いた長浜城の城下町として発展し、現在も黒壁スクエアなどの伝統的町並みが観光資源となっています。気候は比較的温暖で、豊かな湖や山々に囲まれ農業や漁業も盛んです。近年は鉄道・道路網の整備により京阪神とのアクセスが向上し、工業団地の立地や観光振興による地域活性化が進められています。</p> <p>4. 「長浜市長浜城歴史博物館」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館建設までの経緯、成り立ち、かかった費用                      1976年の「長浜市総合計画」で「文化の香るまちづくり」の象徴として計画されました。地元実業家・長谷兄弟が「城郭型施設」を望み1億5千万円を寄附、市政40周年記念事業として長浜城跡の豊公園に建設が決定しました。市民からも相次いで寄附が寄せられ、最終的に約8,200人から4億3千万円が集まりました。1981年6月着工、1982年8月竣工、1983年4月開館。鉄筋コンクリート造・三層五階建てで、藤岡通夫東工大名誉教授の指導で設計されました。総事業費は10億3,700万円で、そのうち寄附金が大きな割合を占めた。                      ＊当富士宮市においてもそのような市民の動きが醸成されれば博物館計画の方向性も見えてくると思う。</li> <li>・事業費推移                      建設と主な改修の経緯・費用まとめ                      昭和56年(1981年)6月着工                      昭和57年(1982年)8月竣工                      昭和58年(1983年)4月開館                      総事業費：10億3,700万円                      内訳：市民寄附4億3,000万円(約8,200人から)、残り市費等</li> </ul> <p>リニューアル・改修工事</p> <p>昭和63年度(1988年6月～7月)                  内容：冷暖房設備設置                  費用：不明</p> <p>平成10年度(1998年9月～1999年4月)                  内容：エレベーター増設、地階に収蔵庫・研修室等を整備、空調設備改修(湿度維持機能)                  費用：不明</p>

平成 27 年度 (2015 年 12 月～2016 年 2 月)

内容：展示室リニューアル (2 階・3 階)、展示ケース照明 LED 化、エアタイトケース新設、空調設備更新

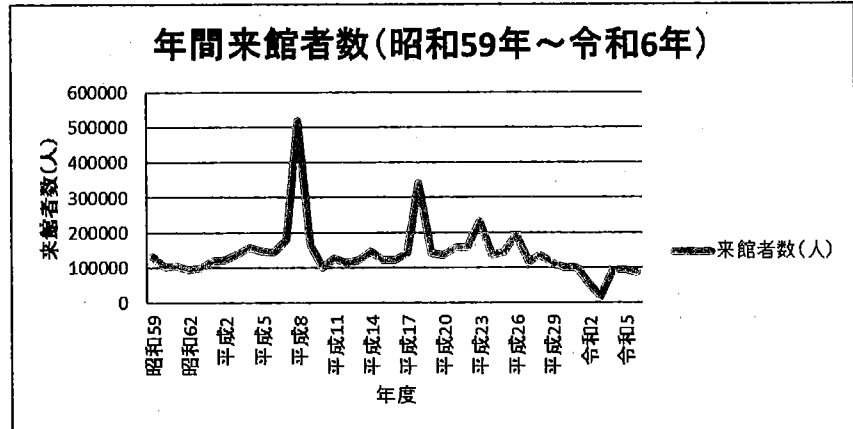
費用：9,300 万円

令和 3 年度 (2021 年 8 月～2022 年 3 月)

内容：耐震補強 (コンクリート壁面打設)、展示ケース移設・新設、消火設備更新、エレベーター更新 (油圧式→ロープ式)、1 階トイレ洋式化

事業費：リフォーム・改修費：判明しているものは 1 億 3,960 万円 (令和 3 年度工事分)

#### 5. 来館者数推移



## 視察報告書

		会派名	つなぐ
視 察 年 月 日	令和7年7月17日		
視 察 先	御食国若狭おばま食文化館		
参 加 者	仲亀恭平 佐野和彦 小松快造 臼井由紀子 望月芳将 岩村恵美		
視察内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>2000年より「食のまちづくり」に取り組んでおり、2001年には、全国発となる食をテーマにした条例「小浜市食のまちづくり条例」を制定し、24年経過したがどのように推進してきたのか、学ぶため。</p> <p>当初より重要視した食育については、「生涯食育」「義務食育」という独自の概念を提唱し、拠点施設「御食国若狭おばま食文化館」を中心に特色ある多様な事業を展開してきたことである。この施設の機能も機能性を十分に発揮できるよう詳細まで綿密に考えられ、活用されていた。</p> <p>小浜市は全国に誇れる食の歴史や伝統を重んじ、誇りをもっていることも随所に感じた。当初より食育を重要視し、「人は命を受けた瞬間から老いていくまで生涯を通じて食に育まれる」との考え方から、小浜で生まれ育つ子ども全てが、食を学び体験できる環境、いわゆる「義務食育」体制の整備し、学校等の教育現場と行政の双方向からのアプローチを市内全年長児および小中学生に対して実施している。また心を育む幼児の料理教室「キッズ・キッチン」である。2003年から開催し18年間の参加者数は、1万にを超えた。一般的な子ども料理教室とは一線を画し、「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」をコンセプトに学習指導要領における小学校家庭科の調理実習と同等のレベルの内容を、幼児が包丁や火の管理も含めた料理のプロセス全般に主体的に取り組むことで、達成感、満足感、協調性、自立心、自律心等の獲得を目指している。この明確を実践してきたことと、それらを体験し、育った子供たちに成人式でアンケート結果があり、それらの目的が果たしている根拠をしめしている。</p> <p>また、館長の中田典子氏の講演が素晴らしく、2000年から取り組んでこられた、思いと熱意が伝わってきた。</p> <p>食を核として、産業の振興、環境保全、食の安全安心の確保、福祉や健康づくり、食育推進など総合的な取り組みが、結果を出していることを知り、この取り組みを富士宮市にどのように取り組んでいけばよいのか、大変勉強になり、明確になった視察であった。</p>		

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
視 察 年 月 日	令和7年7月17日	
研 修 名	福井県敦賀市「ドローンを活用したスマート物流」	
参 加 者	小松快造 佐野和彦 白井由紀子 望月芳将 岩村恵美 仲亀恭平	
研修内容	<p><b>【目的・経緯】</b></p> <p>少子高齢化が進む中山間地域では、買い物困難者の支援、地域物流の維持、災害時の物資輸送が課題である。敦賀市はこれらの喫緊の課題に対し、ドローンを活用したスマート物流での解決を目指しており、注目されている。中山間地域を抱える富士宮市にとって、ドローンを活用したスマート物流と災害対策は、市民生活の質向上と地域強靱化を実現するための重要な政策となり得る。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>■ドローンを活用したスマート物流</p> <p>スマート物流は、買い物困難地域におけるオンデマンド配送や買い物代行サービスを提供することで、住民の生活を直接的に支援する。また、物流各社との共同配送モデルを構築し、配送の効率化を進めることで、2024年問題に直面する地域物流の維持と活性化に貢献する。これらの取り組みは、地域の商店の販路拡大や新たなビジネス創出も促し、地域経済に新たな活力を与える可能性がある。</p> <p>■ドローンを活用した災害輸送</p> <p>能登半島地震の教訓から、災害時の孤立対策としてドローンの活用が不可欠であることが認識された。政府の防災基本計画にもドローンによる状況把握や物資輸送が明記されたことで、その重要性は一層高まっている。</p> <p>敦賀市に導入されている「新スマート物流」は、災害物流対策としても機能する。今後、道路寸断や孤立の可能性が高い地域を中心にドローンによる輸送ルートの開拓を進め、災害時の即時対応能力を強化していく方針である。市民や事業者との連携を強化し、有事の際に迅速かつ効果的な対応が可能となる体制を構築することで、市民の安心・安全を守る。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>富士宮市のような自然豊かな地域において、ドローン技術が生活支援と災害対策の両面でここまで具体的な形で貢献できることに、非常に大きな可能性を感じる。特に、平時の物流インフラがそのまま災害時の生命線となる「フェーズフリー」という考え方は、これからの地域防災のあり方を示すものだと感銘を受けた。現実的な課題も多いと思うが、ぜひ実現に向けて調査・研究するべきと考える。</p>	

# 視察報告書

		会派名	つなぐ
視察年月日	令和7年7月18日		
視察先	富山市立図書館		
参加者	つなぐ：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子、望月芳将、仲亀恭平、岩村恵美		
	<p>平成10年からまちづくり懇談会がはじまり、中心市街地の再開発事業の一貫で美術館と図書館、銀行が入る建築物として平成27年に建設された。特徴的なことは、設計が隈研吾氏で木材を豊富に使っていた。芸術的センスに圧倒される一方、研修室や学習スペースなどの機能が不足していた。当時の市長が賑わい創出を願っていたため、講演会や研修会、読み聞かせ会など子どもからお年寄りまで楽しめる企画を行い、こうしたところに予算を投じていた。開設時の平成27年では年間484,998人の入館者でしたが、令和6年では、593,794人に増えている。また、駐車場のない施設で公共交通を使って来館される方が多い。年間予算としてイベント開催予算約500万円、図書購入費約7000万円である。図書館とまちづくりとても興味がわくコンセプトだと感じた。</p>		

## 支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	6000 円
内 容	行政視察の土産代
目 的	小浜市議会、敦賀市議会、富山市議会の 行政視察の土産代
支 出 先	お茶の豊香園
支払年月日	令和7年7月14日
その他特記事項（参加者・人数等） お茶代 2000 円×3 個	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

富士官市議会  
会派「つたぐ」様

No. \_\_\_\_\_

金額

¥6000

内 訳

現 金

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但 お茶の土産代として

R7年7月14日 上記正に領収いたしました

お茶の豊香園

富士官市豊田町15-14

(0544)26-8641

収入印紙

登録番号

# 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和7年 7 月 22 日	決 裁	令和7年 7 月 22 日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	仲亀恭平	
2		小松快造	
3		望月芳将	
4		岩村恵美	
5			
研修市町村	研 修 先		研 修 名
静岡市駿河区	県男女共同参画センター あざれあ		自治体議会特別セミナーin静岡
研 修 目 的			
議員の質の向上と議会運営の基本を学ぶため			
宿 泊 地	出 発 年 月 日		帰 省 年 月 日
	令和 7 年 8 月 4 日		令和 7 年 8 月 4 日

政 務 活 動 費 用

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	40000 円
内 容	自治体議会特別セミナー参加費
目 的	議員の資質向上と議会運営の基本を学ぶため
支 出 先	自治体議会研究所
支払年月日	令和7年8月4日
その他特記事項（参加者・人数等） 受講料 10000 円×4名 仲亀恭平、小松快造、望月芳将、岩村恵美	

## 領 収 書

富士宮市議会 つなぐ 様

金 40,000 円

上記正に領収いたしました。ただし、自治体議会特別セミナー受講料（4名分）として。

令和7年8月4日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣 

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13480円
内 容	自治体議会特別セミナー参加のための旅費
目 的	議員の資質向上と議会運営の基本を学ぶため
支 出 先	仲亀恭平ほか3名
支払年月日	令和7年8月1日
その他特記事項（参加者・人数等） 仲亀恭平、小松快造、望月芳将、岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

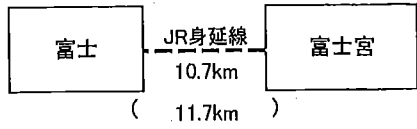
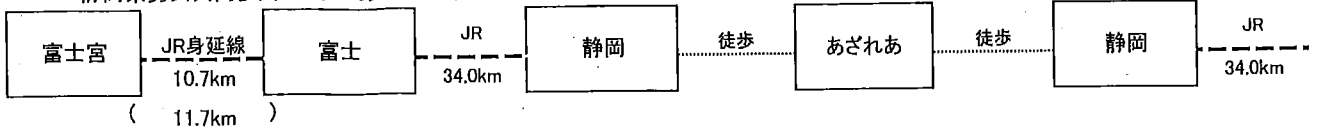
つなぐ

(仲亀・小松・望月・岩村議員)

● 1 日 目 : 令 和 7 年 8 月 4 日 ( 月 )

【研修】自治体議会特別セミナーin静岡 議員の資質向上と議会運営の基本

静岡県男女共同参画センターあざれあ(静岡市駿河区馬淵1-17-1)



JR運賃営業キロ(片道)	
44.7	km
860	円

鉄 道 賃	J R	1,720 円	運賃 A	1,720 円	×	1 人	=	1,720 円
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	円	日 当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船 賃		円						
車 賃 ( バ ス )		円						
1人往復運賃合計 A		1,720 円	旅費合計	3,370 円/人	×	4 人	=	13,480 円

# 研修報告書

会派名	つなぐ
-----	-----

研 修 年 月 日	令和7年8月4日
研 修 名	自治体議会特別セミナーin静岡
参 加 者	仲亀恭平、小松改造、望月芳将、岩村恵美
研修内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>議員の資質向上と議会運営の基本を学ぶため</p> <p>①「二元代表制」における議会活動                  「議会と市長は車の両輪」とよく言われているが、その意味を間違えていないか。                  車は、別々でなければならない。                  地方自治法 第89条第1項に「議会は、議事機関」と明確に規定された。                  議事機関とは、団体や組織の意思を決定するための機関。                  すなわち予算や条例を審議し、熟議する。そのためには、しっかりとした勉強と調査、研究を常にする必要がある。                  重要な意思決定に関する事件を議決し、検査及び調査その他の権限を行使する。                  長その他の執行機関の事務執行に対し、これを監視する機能                  自治体議会として、特に次の2つの機能が重要とされる。</p> <p>1) 執行機関の監視・評価機能                  2) 議会からの政策形成機能                  この2本立てをしっかりと行うべき。</p> <p>②通年制議会について</p> <p>1) いつでも会議を開くことができるため、より慎重な議案審議や専門的な調査を行うことができる。                  2) 委員会を必要に応じて開催できるため、調査研究活動や、議員間討議の活発化が期待できる。                  3) 市政に対する監視機能や政策立案の機能強化                  4) 市長や議員が必要に応じて、議案を提出できる。                  5) 専決処分を最小限に抑制することができる。</p>

# 研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和7年 8月 5日	決裁	令和7年 8月 5日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
静岡市葵区	静岡交通ビル3階会議室 静岡市葵区黒金町55	対話で変える〇〇の仕事 財政が厳しいってどういうこと？	
研 修 目 的			
自治体財政の今、どのようにアプローチしていくのかを学ぶため			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
	令和7 年 8 月 8 日	令和7 年 8 月 8 日	

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	5,000 円
内 容	対話で変える〇〇の仕事、財政が厳しいってどういうこと？
目 的	自治体財政の今をどのようにアプローチしていくのかを学ぶ
支 出 先	自治体議員政策情報センター・虹とみどり静岡
支払年月日	令和7年 8月 8日
その他特記事項(参加者・人数等) 岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

領収書(控)	
No. —	
令和 年 月 日	
円	
様	

会津つばく 領 収 書

No. —
-------

岩 村 恵 美

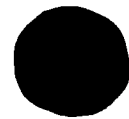
様

5000 円也

但

令和7年 8月 8日

自治体議員政策情報センター・虹とみどり静岡



## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	¥ 3 3 7 0
内 容	対話で変える〇〇の仕事、財政が厳しいってどういうこと？研修参加のための旅費
目 的	自治体財政をどのように読み解き、どのように自治体財政が決まっているのか。どうアプローチしていけばよいのか、学ぶため。
支 出 先	岩村恵美
支 払 年 月 日	令和 7 年 8 月 5 日
その他特記事項（参加者・人数等） 岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

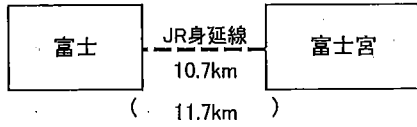
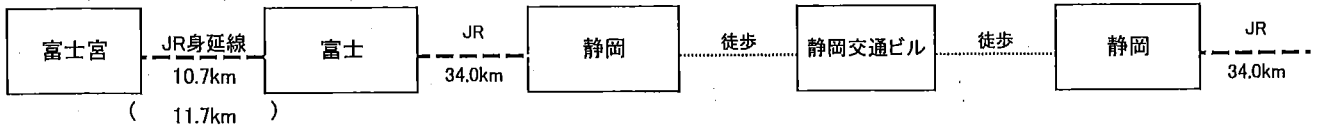
旅費計算書(政務活動費)

つなぐ  
(岩村議員)

● 1日目: 令和7年8月8日(金)

【研修】 対話で変える〇〇の仕事～財政が厳しいってどういこと?～

静岡交通ビル3階会議室(静岡市葵区黒金町55)



JR運賃営業キロ(片道)	
44.7	km
860	円

鉄道賃	JR	1,720 円	運賃 A	1,720 円	×	1 人	=	1,720 円
	私鉄	円						
特急料金	通常	円	日当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	閑散	円						
	繁忙	円						
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船賃		円						
車賃(バス)		円						
1人往復運賃合計 A		1,720 円	旅費合計	3,370 円/人	×	1 人	=	3,370 円

# 研修報告書

会派名		つなぐ
研 修 年 月 日	令和7年8月8日	
研 修 名	対話で変える〇〇の仕事、財政が厳しいってどういうこと。	
参 加 者	岩村恵美	
研修内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>財政が厳しいってどういうこと？実は職員すらこの意味をわかってない。                  地方自治体には「お金がない」                  義務的経費とは、「公債費」「扶助費」(社会保障)「人件費」(公務員の給与) これらでだいたい6割を占めている。                  扶助費の増加や市有建築物の整備、公共施設等の維持、保全費用の増加。</p> <p>予算をけずるのは、やりたいことをするために削っている。                  スクラップ&amp;ビルド                  まずやるべきことを先に「ビルド」それよりも優先順位が低いものを削る。                  ビルド&amp;ビルドになっていないか。                  既存の事業が見直せないから。</p> <p>予算編成の目的…財政上の前提条件をふまえた行政サービスの提供、優先順位は何なのか。                  地方交付税…臨財債とは、交付税措置を先食いしているだけ。                  交付税の総額はいくらなのか。</p> <p>必要のない事業をやっていないか。                  本当に必要なものに使っているのか。                  必要な事業になっているのか。                  合併特例債…本当に必要なものに使ったのか。</p> <p>ふるさと納税…自由財源                  使うためにお金を集めるのか、お金を集めるために事業をかんがえるのか。                  ふるさと納税で全国いろんな不正が起こっている。                  役所のガバナンスが効かなくなっている。</p> <p>ジブリの絵を使いわかりやすく、興味を引く講義であった。                  これからの予算、決算、事業の提案に生かしていくための参考になった。</p>	

# 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和7年 10月20日	決 裁	令和7年 10月20日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	岩村恵美	
2			
3			
4			
5			
6			
研修市町村	研 修 先		研 修 名
富士宮市	オブリック (株) COMFORTHALL		発達につまずきのある子の将来 を見据えた支援ヒント
研 修 目 的			
発達につまずきのある子どもたちの支援を学ぶため			
宿 泊 地		出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日
		令和 7 年 11 月 22 日	令和 7 年 11 月 22 日

政 務 活 動 費 用

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	5 3 3 0 円
内 容	発達につまずきのある子の支援の方法を学ぶための 参加費
目 的	木村講師を交えて、現場の支援の在り方や将来を見据 えた支援のヒントを学ぶため
支 出 先	療育塾ドリームタイム (Peatix)
支払年月日	令和7年10月30日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
岩村恵美 1名 受講料 5000 円 振込手数料 330 円	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	発達につまずきのある子の支援の方法を学ぶための参加費
----	-----	----	----------------------------

領収書等貼付欄


**FamilyMart**

富士宮外神店  
静岡県富士宮市万野原新田  
4078番地2  
電話：0544-59-0223

2025年10月30日（木）13:00

領収書 No. [REDACTED]

お客様情報：

受付番号 [REDACTED]  
氏名 イワムラ エミ様

サービス提供企業名称：

Peatix

受領日時：

2025年10月30日（木）13:00

お問い合わせ先：

電話番号 0120-478-061

受付時間 10:00~18:00

メールアドレス peatix@peatix.com

ホームページ <http://ptix.co/ticket>

et

ログインチケットを確認ください

収納業務：(株)イーコンテクト

お問い合わせ用コード：

申込No. [REDACTED]

商品情報：

お申込商品代金 ¥5,330

【お申込内容】

お名前：イワムラ エミ

イベント名：発達につまずきのある

子の将来を見据えた支援のピン

チケット名：終日（早割） ※1031

（金）17時まで

※本領収書はチケットではありません。

※チケットは5分ほどでPeatixアプリ、

パソコンの画面上に表示されます。

※スマートフォンをご利用の場合、

アプリ(Peatix)をダウンロードし、

ログイン後チケットのお受け取りを

お願いします。

※パソコンをご利用の場合、Peatix

ページにアクセスし、ログイン後

マイチケット画面からチケットのご

確認をお願いします。

Peatixサイト(<https://peatix.com/dashboard>)※詳細は<http://ptix.co/ticket>を

ご覧ください。

合計 ¥5,330

# 研修報告書

会派名	つなぐ
-----	-----

研 修 年 月 日	令和7年11月22日
研 修 名	発達につまずきのある子の将来を見据えた支援のヒント
参 加 者	岩村恵美
研修内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>木村 順 講師を交えて、一日の講習であった。まず最初の挨拶の中で一週間合宿をしても伝えきれないとのことであった。将来を見据えた支援のヒントとは、子の支援の具体策は、その子のつまずきの状態によって千差万別であることも理解している。しかしながら、よく似たつまずきを示す子ども達には、共通する支援の具体策があることも事実である。(普遍性)</p> <p>何が千差万別であり、何が共通するものなのか、そこを学んでいくことによって将来を見据えることができるのではないかと。この視点からの講座であった。</p> <p>臨床経験を積まれた講師の話と具体的に支援に関わってこられた木村先生の具体的かつ的確な指摘がとても分かりやすく、支援している方々の実践に生かすことができると感じた。</p> <p>またこの取り組みによって、同じ地域で発達に関わる人との繋がりもできた。</p> <p>また皆さん色々な思いや、課題をかかえており、どんな支援ができるのか、具体的に施策を提案していく課題をいただいた。</p>

# 研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和8年 2月 20日	決裁	令和8年 2月 20日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	仲亀恭平	
2		臼井由紀子	
3		岩村恵美	
4			
5			
研修市町村	研 修 先		研 修 名
静岡県駿東郡長泉町	静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007静岡がんセンター研究所 しおさいホール		静岡がん会議2025
研 修 目 的			
がん医療の均てん化の集約化の諸課題を学ぶため			
宿 泊 地	出 発 年 月 日		帰 省 年 月 日
東京都三鷹市	令和 8 年 3 月 7 日		令和 8 年 3 月 7 日

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	9,030 円
内 容	静岡がん会議2025参加のための旅費
目 的	がん医療の均てん化の集約化の諸課題を学ぶため
支 出 先	臼井由紀子、仲亀恭平、岩村恵美
支払年月日	令和8 年 3 月 6 日
その他特記事項(参加者・人数等) 臼井由紀子、仲亀恭平、岩村恵美	

— 領収書等貼付欄 —

7

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

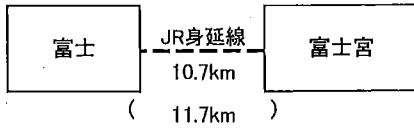
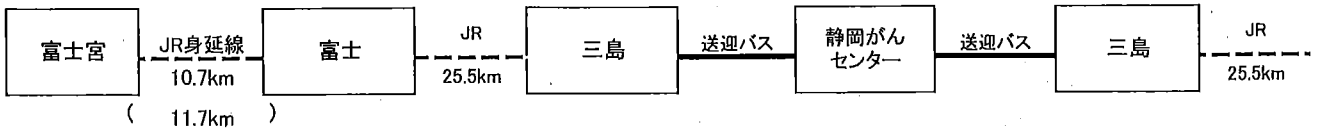
つなぐ

(仲亀議員・臼井議員・岩村議員)

● 1日目: 令和8年3月7日(土)

【研修】静岡がん会議2025

静岡がんセンター研究所 しおさいホール(駿東郡長泉町下長窪1007)



JR運賃営業キロ(片道)	
36.2	km
680	円

鉄道賃	JR	1,360 円	運賃 A	1,360 円	×	1 人	=	1,360 円
	私鉄	円						
特急料金	通常	円	日当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	閑散	円						
	繁忙	円						
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船賃		円						
車賃(バス)		円						
1人往復運賃合計 A		1,360 円	旅費合計	3,010 円/人	×	3 人	=	9,030 円

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
視 察 年 月 日	令和8年3月7日 午前10時30分～	
研 修 名	研修名：静岡がん会議 2025 主 催：静岡県立静岡がんセンター 静岡県健康福祉部 静岡県経済産業部 公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	
参 加 者	白井由紀子 岩村恵美 仲亀恭平	
視察内容	<p><b>研修の目的</b></p> <p>本研修を通じ、国の2040年を見据えたがん医療提供体制や県の医療田園都市構想の進捗、地域医療構想の先進事例を学ぶ。</p> <p><b>内容</b></p> <p>静岡がん会議 2025</p> <p>第1部「がん医療の均てん化・集約化の諸課題」</p> <p>第2部「地域活力の向上を目指す医療田園都市構想」</p> <p><b>所感</b></p> <p>静岡がん会議では、病院同士が力を合わせる「医療の集約化」が強く示されていた。富士医療圏では消化器外科専門医が人口10万人あたり2.74人と県内最低水準であり、外科医の高齢化も深刻である。富士宮市も、医療機能を集約し分担するネットワーク型医療へ転換する必要があると感じた。</p> <p>一方、市民の不安は、病院が遠くなることや必要な医療に確実にアクセスできるかという点である。だからこそ行政が行うべきは、病院への移動負担を軽減する支援を行い、病院同士の連携を後押しする投資へと切り替えることである。</p> <p>後ろ向きな再編ではなく、「より専門的な医療につなぎ、移動は行政が支える」という前向きな再編を、富士宮市として進めていくべきであると考えます。</p>	

# 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和8年 2 月 20 日	決 裁	令和8年 2 月 20 日
No.	所 属	氏 名	備 考
1	つなぐ	仲亀恭平	
2		佐野和彦	
3		小松快造	
4		臼井由紀子	
5		望月芳将	
6		岩村恵美	
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	リファレンス西新宿区大京ビル新宿区西新宿7丁目21-3	「交通空白」と地域公共交通の役割①、② 地方議員研究会	
研 修 目 的			
交通空白と地域公共交通の役割を学ぶため			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
	令和 8 年 3 月 30 日	令和 8 年 3 月 30 日	

政 務 活 動 費 用

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	82980円
内 容	地方議員研究会 参加のための旅費
目 的	井原講師による交通空白と地域交通の役割を学ぶため
支 出 先	仲亀恭平 他5名
支払年月日	令和8年3月18日
その他特記事項（参加者・人数等） 仲亀恭平、小松快造、臼井由紀子、佐野和彦、望月芳将、岩村恵美 13830円×6名 3月30日 交通空白と地域交通の役割①、②	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

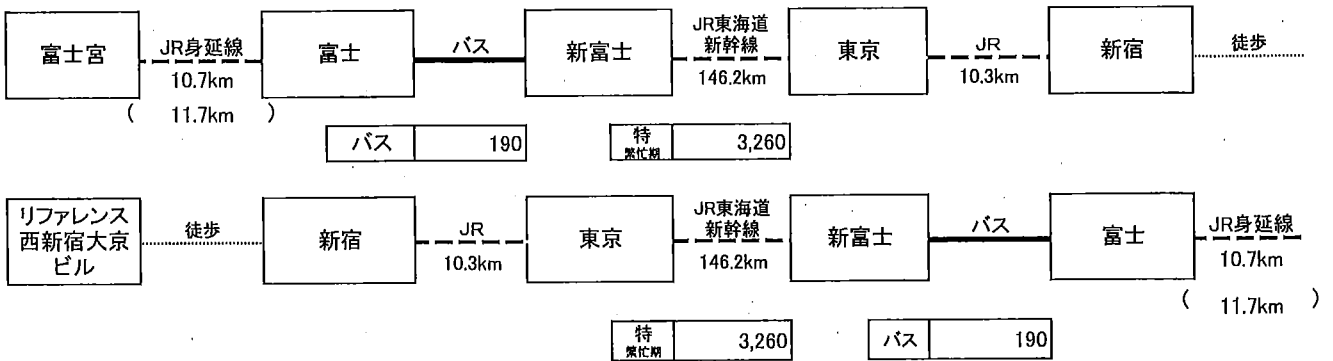
旅費計算書(政務活動費)

つなぐ

(仲亀議員・佐野議員・小松議員・  
臼井議員・望月議員・岩村議員)

● 1日目：令和8年3月30日(月) 繁忙期

【研修】地方議員研究会「交通空白と地域公共交通の役割①」、「交通空白と地域公共交通の役割②」  
リファレンス西新宿大京ビル(東京都新宿区西新宿7丁目21-3)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	12,180 円 × 1 人 = 12,180 円				
	私鉄	円		日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円			
特急料金	通常	円	宿泊料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円			
	閑散	円			旅費合計	13,830 円/人 × 6 人 = 82,980 円		
	繁忙	6,520 円						
航空運賃	料金	円						
船賃		円						
車賃(バス)		380 円						
1人往復運賃合計 A		12,180 円						

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	360550円
内 容	地方議員研究会研修 参加費
目 的	井原講師による交通空白と地域交通の役割を学ぶため
支 出 先	株式会社 H30 カ) エイチスリーオー 地方議員研究会
支 払 年 月 日	令和8年2月20日
その他特記事項 (参加者・人数等) 仲亀恭平、小松快造、臼井由紀子、佐野和彦、望月芳将、岩村恵美 6名 受講料 15000円×4講座×6名 振込手数料 550円 3/30 交通空白と地域公共交通の役割①、② 3/31 ライドシェアと自動運転の基礎と課題、交通崩壊の解決策としての 地方公共交通	

— 領収書等貼付欄 —

おやしのネットキャッシュサービス  
お取扱明細票

富士宮信用金庫

お取扱日	お取扱店番・受付番号	
08.02.20	[REDACTED]	
お取引店	口座番号	
[REDACTED]	[REDACTED]	
お取引金額	[REDACTED]	[REDACTED]
お取引内容	お引出	[REDACTED]
手数料	¥550	お取引金額
時刻	14:43	¥360,000*
説明コード	お取引後残高	
[REDACTED]	[REDACTED]	

カ) エイチスリーオー様  
 富士市議会、うなぐり、  
 イワラ イミ様

2025/12/23

富士宮市 議会

岩村恵美 様 仲亀恭平様 佐野和彦様  
白井由紀子様 小松快造様 望月芳将様

地方議員研究会  
セミナー事務局

TEL: 050-1089-9835

MAIL: chihogiken@h3o.works

### 受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。  
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。  
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。  
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。  
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。  
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。  
領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

下記の通りご請求申し上げます。

お申込み講座		備考
・ 2026年3月30日(月)10時~井原講師【東京】交通空白と地域公共交通の役割①		6名様
・ 2026年3月30日(月)13時半~井原講師【東京】交通空白と地域公共交通の役割②		6名様
・ 2026年3月31日(火)10時~井原講師【東京】ライドシェアと自動運転の基礎と課題		6名様
・ 2026年3月31日(火)13時半~井原講師【東京】交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資		6名様
領収証宛名	ご本人様名	
領収証金額	¥60,000	
ご請求額	<b>¥360,000</b>	(4講座 6名様)

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。  
[REDACTED]

名義 株式会社H3O (カ) エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。  
※会派名でお振込をいただくことがあります。全国的に同じ会派名が多数存在し、どなたからのお振込か、わかりかねる例が多くございますのでご協力お願い致します。

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。  
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。  
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

# 研修報告書

		会派名	つなぐ
研 修 年 月 日	令和8年3月30日		
研 修 名	交通空白と地域公共交通の役割①		
参 加 者	岩村恵美 仲亀恭平 白井由紀子 佐野和彦 小松改造 望月芳将		
研修内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>令和8年3月30日午前10時から12時30分まで、地方議員研究所主催の研修会で「交通空白と地域公共交通の役割①」と題し、早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 自動車量研究所 研究員客員准教授 井原雄人先生の講演を、東京都新宿区西新宿のリファレンス西新宿大京ビルで聴講した。</p> <p>研修内容は公共交通利用者の年代層や需要の経年変化などの分析。また、関係法令や法律的根拠や現在の地方の公共交通の現状を確認後、公共交通の取巻く、人手不足や公共交通事業者の経営上の問題、規制の問題といった状況を多くの関係者が幾度となく協議を重ね問題解決に至った経緯を聴いた。中でも愛知県瀬戸市団地の住民が可決した事例は、コミュニティーの再構築につながっていると感じた。</p> <p>この研修の結論は、大切なことは自分たち（住民）が決める。意志を持つ決断するということだと感じた。</p> <p>私たちも住民への情報開示と話し合いによって、問題の公共交通の在り方を決めていければと思った。</p>		

# 研修報告書

会 派 名 つなぐ

研修 年 月 日	令和8年3月30日
研修名	交通空白と地域公共交通の役割 ②
参加者	小松快造、佐野和彦、臼井由紀子、望月芳将、岩村恵美、 仲亀恭平
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>交通空白と地域公共交通の役割 ②</p> <p>早稲田大学准教授井原雄人氏の研修を受講し、改めて「交通空白」の問題が単なる移動手段の不足ではなく、地域でくらし続けることそのものに直結する重要な課題であると実感した。</p> <p>人口減少や高齢化の進行により公共交通の維持は年々厳しさを増しており、採算性だけでは支えきれない現状があること。そしてその結果として、交通空白が広がっている現実は重く受け止めるべきものと感じた。</p> <p>特に印象に残ったのは公共交通は単なる「移動の手段」ではなく、通院や買い物、通学といった日常生活を支える基盤であり、地域の活力やまちづくりに深く関わる存在であるという視点である。</p> <p>またこうした課題に対するうえで重要となるのが、「地域公共交通計画」の役割であると理解した。</p> <p>地域公共交通計画は地域の実情に応じた交通のあり方を明確にし、行政、交通事業者、住民など多様な主体が連携しながら、持続可能な交通体系を構築していくための指針であり、単なる計画にとどまらず実効性をもって運用していくことの重要性を強く感じた。</p> <p>更に、公共交通は民間任せでは限界があり、行政が主体的に関わりながら地域全体で支えていく必要があるというご指摘は、大変示唆に富むものだった。</p> <p>今後は本市においても地域公共交通計画を軸としながら地域の実情をていねいに捉え、多様な主体との連携を図り、持続可能な地域公共交通の実現に向けて検討を深めていく必要があると強く感じた。</p> <p>特に「共同組合の実施事例」では熊本市、「交通サービスの組み合わせ事例」では豊岡市などの実例もお示ししていただいたのでその事例も含め本研修で得た視点を今後の政策提言や議会活動にしっかりと活かしてまいりたいと考えている。</p>

# 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和8年 2 月 20 日	決 裁	令和8年 2 月 20 日
所 属	氏 名		備 考
1	つなぐ	仲亀恭平	
2		佐野和彦	
3		小松快造	
4		臼井由紀子	
5		望月芳将	
6		岩村恵美	
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	リファレンス西新宿区大京ビル新宿区西新宿7丁目21-3	ライドシェアと自動運転の基礎と課題 交通崩壊の解決としての地域公共交通への投資 地方議員研究会	
研 修 目 的			
ライドシェアと自動運転の基礎と課題を学ぶため			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
	令和 8 年 3 月 3 1 日	令和 8 年 3 月 3 1 日	

政 務 活 動 費 用

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	82980円
内 容	地方議員研究会 参加のための旅費
目 的	ライドシェアと自動運転の基礎と課題を学ぶため
支 出 先	仲亀恭平 他5名
支払年月日	令和8年3月18日
その他特記事項 (参加者・人数等) 仲亀恭平、小松快造、臼井由紀子、佐野和彦、望月芳将、岩村恵美 13830円×6名 3月31日 ライドシェアと自動運転の基礎と課題 交通崩壊の解決策としての地域交通への投資	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

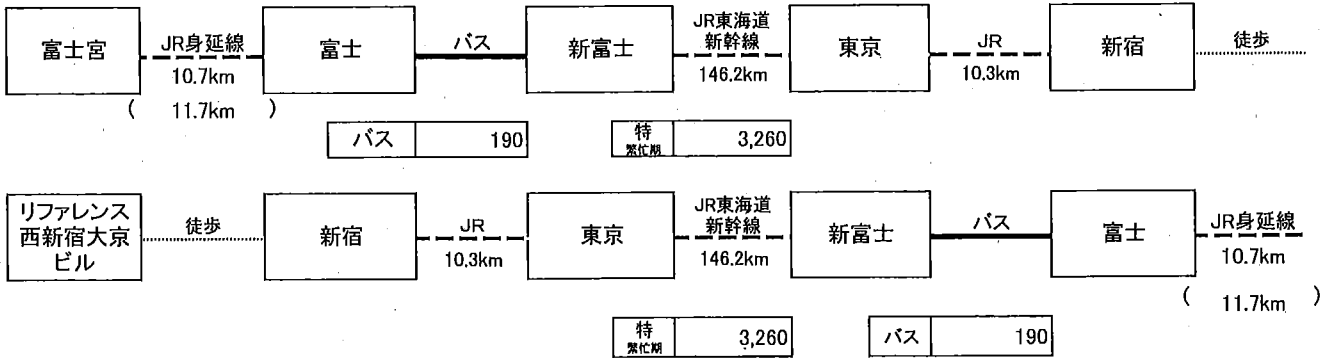
旅費計算書(政務活動費)

つなぐ

(仲亀議員・佐野議員・小松議員・  
臼井議員・望月議員・岩村議員)

● 1日目：令和8年3月31日(火) 繁忙期

【研修】地方議員研究会「ライドシェアと自動運転の基礎と課題」、「交通崩壊の解決策としての地域公共交通」  
リファレンス西新宿大京ビル(東京都新宿区西新宿7丁目21-3)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	12,180 円 × 1 人 = 12,180 円			
	私鉄	円		日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
特急料金	通常	円	宿泊料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
	閑散	円			車賃 (バス)	380 円	
航空運賃	料金	円	1人往復運賃合計 A	12,180 円			
船賃		円		旅費合計	13,830 円/人 × 6 人 = 82,980 円		

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
研修年月日	令和8年3月31日	
研修名	ライドシェアと自動運転の基礎と課題① 講師：早稲田大学准教授 井原雄人 氏	
参加者	仲亀恭平、佐野和彦、小松快造、白井由紀子、望月芳将、岩村恵美	
研修内容 (概要、特色、効果、課題等)	<p>ライドシェアで地域交通の問題は解決できるのか。ライドシェアも自動運転もすでにある。がしかしライドシェアと自動運転では（少なくとも私たちの任期中には地域公共交通は救えない）なぜか。想像しているものとは少し違う。</p> <p>技術実証：開発されたシステムが技術的に動作するのかの実証必ずしも地域に必要な技術とは限らない。</p> <p>社会実証：開発されたシステムが社会の中でつかえるのかの実証短期間の実証では使い続けられるのかわからない。</p> <p>社会実装：開発されたシステムが社会の中で使い続けられるのか＝実装</p> <p>コスト・安全性などを含めて、地域が受容できるものとなる。地域に必要なものが何かを考えて取り組む（選ぶ）ことが重要そのためには、普段使用している人、使う人の意向を知ること学生、高齢者、幅広い住民、行政、交通事業者と連携しながら取り組んでいく。そのためのヒントを数多くいただいた。</p> <p>コンサルやIT企業をいれるのもよいが、その前に自治体側がやりたいこと（作りたい仕組みやシステム）を伝えられていないのではないか。との指摘もあった。</p> <p>地域交通は喫緊の課題である。今回の研修で得られた視点をしっかりと調査していく中で、取り入れ、言語化し今後の施策提言や議会活動にいかしていく。</p>	

# 研修報告書

	会派名	つなぐ
研修年月日	令和8年3月31日 午前10時00分～午後4時00分	
研修名	研修名：地域の足がなくなる？交通空白解消セミナー 「交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資」 講師：早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電気車両研究所 研究院客員准教授 井原雄人 氏	
参加者	佐野和彦 白井由紀子 岩村恵美 小松快造 望月芳将 仲亀恭平	
研修内容	<p><b>研修の目的</b></p> <p>公共交通における利用者減少や深刻な運転手不足に対し、AIや自動運転といった最新技術の有効性とコスト等の実態を把握し、富士宮市における持続可能な交通政策の方向性を調査する。</p> <p><b>内容</b></p> <p>公共交通を取り巻く最新の仕組みと課題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■具体的先進事例：愛知県瀬戸市（現場の声を反映したニーズ分析） 数値だけでなく坂道などの環境課題や個人の負担を分析。住民を街の事情に詳しい専門家として迎え、実効性の高い計画を立てる必要がある。 ※実際に公共交通を利用している住民が望ましい。</li><li>■デジタル技術活用の現実 予約に応じてルートを変えるAIデマンド交通は、アプリ予約の導入で利便性は向上するが、AIが自ら乗客を見つけ出すわけではない。あくまでルート計算の道具であり、導入だけで利用が増える魔法ではない点に留意が必要である。</li><li>■自動運転導入のコストとハードル 運転手不足の解消が期待される自動運転レベル4は、車両代1億円に加え、センサー調整等の維持費に毎年1500万円を要する。人件費を上回る懸念もあり、導入には費用対効果を見極める必要がある。</li><li>■公共交通への投資実態 日本において自治体が公共交通に充てる予算は、全体のわずか0.1～0.3%程度という極めて低い水準に留まっている。</li></ul> <p><b>所感</b></p> <p>最新技術が交通課題をすべて解決するとの考えは、再考すべきである。なぜなら、優れたシステムも、利用する市民がいなければ維持できないからである。</p> <p>先進事例が示す通り、数値化できない課題を、街の事情に詳しい専門家である住民の視点で分析し、実効性を高める必要がある。加えて、技術導入を目的とせず、費用対効果と住民ニーズを調査・整理し、持続可能な仕組みへ大胆に作り変えるべきである。</p>	